

連載 持続可能なまち 佐倉市の実現に向けて

佐倉市が
取り組む

気候変動対策

気候変動の進行により、都市域での気温の上昇や、短時間豪雨によるインフラへの影響などが問題となっています。

今回は、市民生活や産業・経済活動における気候変動の影響と適応策を紹介します。

☎ 気候変動対策室（生活環境課） ☎ 484-6716

影響 ヒートアイランド現象の原因と人々への被害

ヒートアイランド現象とは

都市部の気温が郊外に比べて高くなる現象で、自動車などによる排熱や建造物の増加、緑地の減少が主な要因です。気温が高くなると人々の熱ストレスが増大し、睡眠の質の低下やだるさ・疲労感の増加につながります。



市の8月の最高気温は昔と比べて33℃から37℃に上昇（※1）しており、熱中症対策がさらに重要となっています。

インフラやライフラインへの影響

豪雨や強風により、電気や水道、交通網などへの被害が想定されます。

●土砂崩れ、冠水による市内の通行止め（令和元年10月25日の大雨）
土砂崩れ：120件、冠水：61件（※2）

●樹木の倒壊による電線の切断（令和元年房総半島台風）
市内における大規模停電：約2万4000件（※2）

事業活動においても、労働環境の変化や原材料の品質の低下、設備コストの増加や消費者ニーズの変化など、多様な影響があります。リスクと優先課題を明確にし、家庭でもすぐにできる対策を実施することが大切です。



適応 暑さへの対策と身を守るための準備

グリーンカーテンを作ってみませんか？

植物を建物や窓の外にカーテン状に置くことで直射日光などが遮られ、室内温度が下がります。暑さに強い朝顔やゴーヤがおすすめです。



暑さから避難し、ひと涼みしましょう

市内には熱中症対策として、暑さを避けて涼しく過ごせる「さくら涼み処」を公共施設や協力店舗などに設置しています。一部の涼み処には無料のマイボトル用給水機もあります。

☎ 涼み処：健康推進課 ☎ 312-8228

給水機：生活環境課 ☎ 484-6716

ハザードマップを確認しておきましょう

自然災害が発生したときに想定される被害範囲や程度、避難場所などを示した地図です。勤務先やお住まいの地域の近くの避難所を確認し、災害危険度や避難経路などを調べておきましょう。



☎ 危機管理課 ☎ 484-6131

森林の整備に取り組んでいます

市では、国県道などの重要なインフラに面した森林のうち、災害時に倒木などにより大きな被害をもたらしたものを対象に、緊急性の高い箇所から順次、災害に強い森林の整備に取り組んでいます。



☎ 農政課 ☎ 484-6141

今回のまとめ

ヒートアイランド現象やインフラ、ライフラインへの影響は、私たちの生活に直結するため、できることから対策に取り組んでいきましょう。

日ごろから災害リスクを知り、いざという時のための避難計画や防災対策に役立てましょう。

イラスト：気候変動適応情報プラットフォーム ※1：気象庁データより、観測開始年（1979年）と直近の（日最高気温）月別平均の5年平均 ※2：令和元年房総半島台風・東日本台風・10月25日の大雨～検証と課題～より

☐ 次回8月1日号では、ESD（持続可能な開発のための教育）についてご紹介します

